

京都国立博物館・新出の書状(竜馬は寺田屋で襲われてよかった)宮川禎一先生

2017年 釜山歴史館。特別企画・新選組“義”に生きる！！

京都・明保野亭(東山区清水産寧坂)

村瀬塾・新選組・幕末京都における歴史探訪・参加者 11 名日野プロバス 2 名。京都祇園祭 7 月 12～14 日



1. 土佐 24 万石・山内一豊(遠州掛川 6 万石) 山内家が入国の時連れてきた者の子孫は上士といい、同じ人間でありながら、われわれを卑しんで同席もせぬ。旅先では、同じ宿にも泊まりたりがらぬ。ご家老福岡宮内様のお妹君・お田鶴さま。(坂本龍馬・俺はその福岡家のお預郷士の倅だ。姫御前など一つ屋根で泊まるのは、息が詰まる、と言って浜で寝るむしろを貸してくれ。阿波の岡崎の浦。客引きの女に袖をひかれるまま、鳴門屋という船宿の軒をくぐった。たまたま竜馬が江戸へ剣術の修行に出かける。同じ宿の同室に相宿を申し込まれる？

竜馬の家系。家祖は、明智左馬之助光春であったと言われる。明智滅亡後、左馬之助の庶子太郎五郎が土佐に逃れて長岡郡才谷村に住み、長曾我部家の一領具足になった。一領具足とは、長曾我部独特の兵制で、平時は、田の畔に槍を突き立て、具足を結び付けて耕作し、陣触れの貝が鳴れば、そのまま鍬を捨て、槍を握り、馬一頭を駆って戦場に出て行く者どもを言う。戦国の末期、長曾我部元親はこの剽悍な一領具足どもを率いて四国全土を切り従えたものである。4 代八兵衛守之が高知本町筋 3 丁目にうつり、酒造業を創業して栄えた。5 代、6 代と巨万の富を積み、ついに 7 代八兵衛直海の時に家業を弟に譲り、郷士の格を買って元の武士に戻った。領地は 1 9 7 石、禄高は 1 0 石 4 斗である。紋所は、明智の桔梗である。(1-42)

お田鶴様は後に公卿、三条実美に嫁ぎ京都に住むことになり、小説では竜馬と密会の場所になる。散策行程。

7 月 12 日 10 時新幹線出発。12 時 17 分京都。

- 1 京都国立博物館。村瀬先生友人、宮川学芸員(京大)が特別に 1 時間の予定を 40 分オーバーして懇切に解説していただいた。この先生は 10 年前 NHK 絵画ドラマ(新選組)の放映の際、新選組の歴史研究等で互いに情報交換した事等で特別な関係にあり、今回の解説を引き受けて頂いたのです。13 時 35 分～15 時 15 分、最新話題は新しく龍馬に関する手紙、慶応 2 年 12 月 4 日付で兄坂本権平宛に書いた手紙の一部分、6 紙が発見されたと高知県が発表した手紙についてである。結論を先に言うと、(竜馬は慶

応 2 年 1 月 24 日未明に伏見の寺田屋で幕吏に襲われてよかった)。
新たに見つかった手紙にそう書いているのだ。



- 2 古高俊太郎邸跡。

- 3 近江屋・坂本龍馬、中岡慎太郎遭難の地。



- 4 長州藩屋敷跡。
- 5 坂本龍馬寓居跡・海援隊京都本部。
- 6 木戸孝允邸跡。

幾松（ホテル・料亭）木戸孝允の恋人、のちに妻となる芸妓^{げいぎ}幾松、木戸松子にちなむ。築 200 年以上という風格漂う建物に（幾松の部屋）がある、登録有形文化財になっている。料亭・幾松の川床で夏の京懐石料理を幕末に思いをはせながら少々高いが賞味する。6 時～9 時。 初日東京駅から 12.000 歩。

7 月 13 日。

- 7 伏見。観月橋、（大阪から京都間の通船 30 石船の船着き場）交通の重要な要衝である船付場を持つ大きな船宿・寺田屋。（お竜が湯に入っていた所、捕え方に気づき二階の竜馬へ裸で知らせて一命が助かった事件）
- 8 映画撮影等に使われる、歴史ある十石船・三十石船野出発地（大阪、京都間）森の石松。
- 9 薩摩・島津伏見屋敷跡・お竜が寺田屋襲撃されたことを知らせ、竜馬達を保護され助けられた。
- 10 伏見の酒蔵・松本酒造・月桂冠等。17 酒蔵。（伏水）と言われる名水がお酒づくりに適していることから 400 年程前に本格的な醸造が始まったと言われます。
- 11 鞍馬山。日本一短いケーブル 80M。牛若丸修行山。（勾配が険しい）忍者の修行山。
- 12 貴船（川の上を座敷に・天然空調がよく効き寒いくらいの会席料理で昼食。
- 13 新選組屯所。八木邸・旧前川邸・
- 14 壬生寺。
- 15 新徳寺。（清川が演説したところ）
- 16 佐久間象山愚居跡。
- 17 酢屋（木材店現在も継続）この二階で大政奉還の原稿を作成し竜馬を中心に行った。（史実にはないが厳然たる事実であるとオカミサン 80? が力説する）酢屋は創業 296 年今も続く材木商。竜馬と海援隊を命がけて匿いました。海援隊の本部を置き、寝泊まりし、大政奉還を成功させるべく毎日奔走しておりました。酢屋の二階は薩土盟約、大政奉還の建白書、新国家構想に取り組んだ場所です。
- 18 池田屋。元パチンコや跡、新選組をうたい文句に大衆酒場（飲み放題）で最後の会席を楽しむ。今日も約 12.000 歩。

7 月 14 日（金）第 3 日目。（最終日）

- 19 霊山歴史館（幕末維新ミュージアム）松下幸之助設立。（今夏特別企画・新選組“義”に生きる！！ を展示中であり。館内新選組一色。 坂本龍馬・中岡慎太郎のお墓。
- 20 高台寺・清水寺の近く、産寧坂（明保亭・京の料理）で昼食。竜馬とお田鶴さんが密会した元高級料亭。



21 タクシーで京都プラザホテルへいったん帰り、荷物を回収し帰りの新幹線 15 時 26 分まで自由解散。

感想；お天気に恵まれ連日 33 度前後の猛暑の中、高齢者のグループであるが皆さん元気よく歩いた。連日 12.000 歩の行程であり坂あり階段が多く相当きつい行程だと思うがグループ全体が効率よく無駄なく動いた。全員無事故で最後まで夏の暑い京都をよく皆さん元気で和やかに見学できました、現地での必要経費 ¥50.000 円徴収も幹事さんの努力で ¥5.000 円バックされた。今回の企画は先導者の村瀬先生だからこそ出来る特別企画で素晴らしかったと思います。後瀬幹事、他世話役にはお世話になり有難うございました、感謝します。いろいろご配慮下さりご苦労様でした。

京都の祇園祭は宵々山で山鉦が準備中であった。

横山好忠。

平成 29 年 7 月 16 日。